



## KAHVI TABLE

表情豊かな 2 つの異素材を、ミニマルで力強い造形に組み合わせたテーブル。天板を折り曲げてそのまま床に伸ばしたような板脚の意匠により、一般的な 4 本脚のテーブルのような視線の抜けが生じず、どっしりと構えた重みのある佇まいを醸している。木部は総無垢で、側面まで一面木で覆われているから、無垢材ならではのバラエティに富む表情をたっぷり味わえる。

板脚は機能面でも長所がある。それは、脚間がこれ以上ないほど広く確保できること。横幅に対してゆったりとチェアをおさめることができる。例えば幅 500mm 程度のチェアを片側 3 脚で計 6 脚合わせるとしたら、テーブル幅は 1800mm もあれば充分足りてしまう。片側 2 脚の計 4 脚の場合、最小を考えるならテーブル幅はもっともっと小さくてもいい。サイズオーダーにより、幅、奥行、高さは変更可能。ダイニングシーンだけでなく、オフィスのデスクやミーティングテーブルとしてもおすすめだ。アームの高いワークチェアなどでも、天板下にアームがすっきりおさまるよう、幕板は少し奥まった位置に通してある。

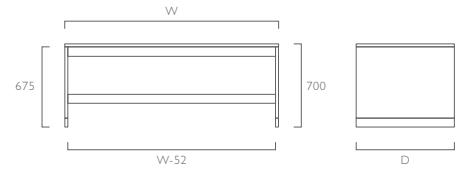
脚同士を繋ぐ貫（構造を強固にし横揺れを抑えるための部材）、ここには黒皮鉄のフラットバー（平鋼）を使用した。黒の塗り潰しではない、鉄本来の色合いを活かした無骨な仕上げ。構造材としてはたつきながら、重厚感あるシックな雰囲気の中に少しだけラフさを添えている。

KAHVI の簡潔で面感の強い造形は、合わせたチェアの輪郭を美しく引き立てるとともに、コーディネートに一体感を生み出す。シンプルな一脚も、個性的な一脚も、どんなチェアとも相性が良く、ひとつひとつかたちの違うチェアをミックスしても、違和感なく調和する。

ヌメ革の色合いの変化や、デニムの色落ちのように、経年するほど、使うほど、魅力が磨かれていく。無垢材はそういう素材だ。だから、今の姿だけでなく、使い続けた先の姿も待ち遠しい。傷や染みを増やしながらも、それもひっくり返るまで徐々に味わいを深めていくその変化を、日々の暮らしの中で愉しみながら付き合っていく。

[天板・脚部] ウォールナット無垢材(オイル仕上)/レッドオーク無垢材(オイル仕上) [貫] 平鋼 [機能] 組立式 日本製

REMBASSY



TYPE	PRICE
W2000 W1900 D850 H700	[WALNUT] [OAK] 538,400
W1800 W1700 D850 H700	[WALNUT] [OAK] 453,000
W1600 W1500 D850 H700	[WALNUT] [OAK] 427,700
W1400 W1300 D850 H700	[WALNUT] [OAK] 408,700
W1200 D850 H700	[WALNUT] [OAK] 392,900

価格はすべて税込表記です。